



市長  
栗原 実

# 新春座談会

## 輝く未来へ ~町の10年後~



町の各分野でご活躍中の9名の皆さんにお集まりいただき広報編集委員5名が座談会形式でインタビューをしました。  
**テーマは町の10年後**  
いったいどんな話がされたのでしょうか。

### 高野 編集委員長

2013年は富士山の世界遺産登録、和食の無形文化遺産登録、そして2020年東京オリンピック開催決定など、たくさん楽しく、明るい話題がありました。  
今回は板倉町の10年後について、さまざまな角度から話ができればと思います。

### 野中 議長

10年後、魅力ある元気なまちづくりをするためには、板倉町のバランスのよさをアピールすればよいと思います。自然の豊かなところがいいと思う人がいれば、都会がいいと思う人もいます。板倉町は、群馬県で最も都心に近い町です。都会に近い元気さ

### 鈴木 教育長

私も若者の町への回帰というテーマについてはいつも考えています。10年後の教育に関して言うのであれば、平成30年あるいは31年には板倉町全体で4つの小学校を合計しても一学年の人数が100名を割ってしまうという状況が予

で影響があると思います。町民体育祭でも選手集めが難しいという話を聞きました。

### 宮田 体育協会長

今年の町民体育祭では大人と子どもがいっしょに参加できる玉入れ競技を取り入れ、全行政区が出場できるように競技種目の変更を行いました。規模の異なる行政区があるため、今後も総合的に調整をしていきたいと思えます。

### 栗原 町長

現状、行政区規模の格差は最大約7倍となっており、さまざまな問題も挙げられています。町では現状の問題点を洗い出し、昨年8月に行政区長会議を通じて、行政区関係者に行政区再編についてのこ

意見を伺いました。今まで慣れ親しんだ行政区ですから、再編することによりもちろん良いことばかり起こるわけではありません。しかし、いつかは誰かが取り組まなければならぬ問題です。学校の統廃合なども関わってくるため、その人の立場になって考え、かつ、合理的に考えていかなければならぬ難しい問題です。

### 中田 編集委員

米の生産調整が見直しされますが、板倉町の農業はどう変えていくべきでしょうか。

### 荒井 農委会長

米の生産調整は約40年前に始まりました。5年後の減反廃止に向けて、これから日本

の農業のあり方が大きく変わります。

板倉町の農家の今後は、一部の大規模農家を除く一般的な規模の農家は、米や麦は集落営農や農業法人に請負を依頼し、ハウス野菜や花きに傾倒していくのではないかと考えられます。また、これからは大規模農家を育成していかないと競争力でグローバル化に対応できないと考えています。

また、現在東洋大学と連携したゲノム解析による米の品種改良によりおいしい米を研究しています。2年後位を目途に板倉町独自の食味がよいコシヒカリができるかもしれません。ブランド米として板倉町の農業を盛り上げることができるといいかなから楽しみです。

## 有言実行・明確な判断を

【くりばらみのる】  
有言実行。また、自らを律し模範となるようにすること。そして、トップとして明確な判断をします。

## 子どもたちに夢を

【のなかよしゆき】  
子どもたちに夢を持たせるようなまちづくりをしたい。また、若者とお年寄りが仲良く暮らせるまちにしたい。



議長  
野中 嘉之





消防団長  
森田 孝市

【もりた こういち】  
消防団の使命である町民の安全と安心の確保を目指したい。そして、消防団員の士気を高めること。そのためには現場で団員がけがをしないように、安全確保を第一に考えています。

## 安全・安心のために

良いデータが得られれば、板倉町をもっとアピールできるのではないかと思います。家庭菜園を奨励するまちづくりをしていく方法もあるのではないかと思います。

### 小暮文化協会長

文化面で10年後を見据えて重要なことは、後継者を育てることです。そして、町のよいところをアピールしていくことだと思います。私はさまざまなイベントで歌う機会がありますが、町をアピールする格好の機会になります。板倉の歌を多くのかたに聴いてもらう、地元の歌を発掘して皆さんに聴いてもらいたいと思っています。

また、板倉町には雷電神社の総本宮があり、利根川、渡良瀬川、谷田川などの川があります。板倉町にしか咲かないタチスミレなどの希少植物もありますし、おいしい川魚料理もあります。

### 森田消防団長

ただ板倉町に来て、いろいろなものがあることを紹介して、皆さんがそれぞれの分野で集客に力を注いでいけば、明るい未来が開けると思っています。

現在、町民の生命・身体・財産を守るために町では103名の消防団員が活動しています。消防団経験者に話を聞くと、消防団活動をしておいたとの反応が多く返ってきます。しかし、この言葉はただ楽しかったという意味で

はなくて、使命感と達成感からくるものと感じています。消防団活動は有事に即応した消防技術の向上のため厳しい訓練がありますが、いろいろな世代、職業のかたとの出会いもあります。交流から学ぶことも多いでしょうし、社会経験にもなります。団員の仲間たちと一丸となって消防団活動をやり遂げ、そのときを振り返ってみるとやってみてよかった、楽しかったと思いが込み上げてくるのではないかと思います。

ぜひ地域の皆さんには、機会があれば、消防団活動に参加して欲しいと思います。

また、今後は女性消防団員の確保も考えていかなければなりません。家族の理解も必要ですが、女性ならではの救

【ますだ こういち】  
今まで、いろいろなかたにお世話になってきた。少しでも恩返し、お返しの気持ちをもって活動していきたい。

## 恩返しの気持ちで



民生児童委員協議会長  
増田 宏一

宮田 体育協会長  
新春ですので、夢がある話をさせていただきます。もし道州制が導入されれば、板倉町の立ち位置も変わってくるのではないかと思います。北関東で道州制が敷かれれば、板倉町は州の中心に位置して



# 新春座談会

## 輝く未来へ

～町の10年後～



教育長  
鈴木 優

## 不易流行と効率化

【すずき まさる】  
不易流行（いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しい変化も受け入れていくこと）それに、効率化というものを目指します。

### 市澤商工会長

商工業を元気にするには、まずニュータウンの工業団地が埋まり、住宅に住んでもらうのが一番かと思っています。

しかし、現実、企業は正規社員の雇用控えがつづき、板倉町も学生がUターンで就職できるような企業が多くありません。今後は、町も正規社員が地元で雇えるような、子どもたちが地元で働けるような企業の誘致に力を入れてほしいと思います。

また、今やインターネットを利用してどこでも仕事ができる時代です。板倉町は東京から約1時間で立地も恵まれていますし、駅前には大きなオフィスビルができればと思います。を巡らせています。

### 福富編集委員

福祉の分野ではどういった取り組みが考えられますか。

### 増田 民生児童委員会

板倉町の高齢者福祉は充実していると思います。しかし、高齢者は幸せな暮らしを継続していくためには、まず自身の健康に気をつけていかなければなりません。板倉町は農業の町です。老後の生きがいのひとつとして、また、健康な体を維持するため、家庭菜園などできるかたは積極的に取り組んでいただきたいと思っています。

また、板倉町の子どもたちは非常に素直です。子育ては町の取り組みとして非常に重要なので、ぜひ手厚く施策を

## 文化とは宝物

【こぐれ ひさき】  
町のご先祖様から伝わってきた文化を次世代につないでいく。文化というものは、宝物です。これを発信し続けていきたい。

充実させていたいただきたいと思っています。

今後は民生児童委員協議会としては、さまざまな団体のかたがたと協力しながらお互い助け合っていきたいと考えています。10年後は今より高齢者、単身世帯が増えます。福祉も行政任せではとても追いつきません。近所でお互いを見守り合う、「向こう三軒両隣」という考え方の復活を期待しています。

### 栗原町長

これまでは高齢者に対する福祉を充実させてきて、それが福祉というのだと私たちは考えてきた面があります。その反面、子育て世代や子どもたちへの支援・援助などに対するスポットのあて方が薄

いと言った声もありますので、今後はそういった対策も練っていききたいと思っています。

### 野中議長

板倉町の特徴である農業をうまく推進することで認知症を予防することができないかと思っています。それは家庭菜園の奨励だと思えます。種をまいて、水や肥料を施し、育てる過程を見ていくと認知症予防に大きな効果があるのではないかと思います。

板倉町とほかの町と比較して認知症に対する

急救命や学校での啓発活動、高齢者宅への訪問など、これからの時代に女性の活躍はますます必要となつてきます。入団してもいいと思えるかたが一人でも多く増えてくれればと節に願います。

### 宮田 体育協会長

新春ですので、夢がある話をさせていただきます。もし道州制が導入されれば、板倉町の立ち位置も変わってくるのではないかと思います。北関東で道州制が敷かれれば、板倉町は州の中心に位置して



文化協会長  
小暮 久雄



体育協会長  
宮田 明

【みやた あきら】  
先を見て、読んで、きちんとした対応を考えていくことが大事だと思います。

## 健康のためにスポーツを

板倉町から将来オリンピック選手が育ってくれば、よ

### 宮田 体育協会長

キャンブ地の話は東毛地区の首長同士でも話題にのぼりました。厳しい競争もあると思いますが、共同体として話題提供くらいはできると思います。渡良瀬遊水地ではカヌーやヨットなどもレジャーとして行っており、選手の練習場として利用できるかもしれません。

現在「自然と近代化、調和

### 栗原 町長

21世紀における国民の健康づくり運動「健康日本21」という施策があります。これは1回30分以上の運動を一週間に2回以上、それを1年間持続している運動習慣者を増やす運動です。ぜひこれを町民の皆さんに実践していただきたい、健康な生活を送っていただきたいと思っています。

# 新春座談会

## 輝く未来へ

～町の10年後～



農業委員会  
荒井 嘉一郎

【あらい かいちろう】  
耕作放棄地を減らし、農業を志すかたへの支援・援助、町の美田化を推進していきたい。また、農業法人・集落営農などの規模拡大の促進を目指す。

## 耕作放棄地の減少を

きます。

例えば、群馬の水郷公園にサイクリングや車でも入れる道を整備して、季節ごとの花を植えるなどし、板倉町を全国からも集客が見込めるような地域にできれば、観光名所にもなります。さしずめ「北関東水郷自然公園」といったところでしょうか。これには、もちろん道州制での地域の財源を確保するといったことが前提になると考えますが、ぜひそうなった場合には考えてもらいたいと思います。また、館林・太田地域を含めて足利、佐野、古河、久喜など広域での発展を考え、板倉町にはその中でもよりダイシツを發揮してもらいたいと願っています。また、板倉東洋大前駅の乗

降客を多くすることも町の発展のためには必要だと思いません。現在は南栗橋で電車がストップしてしまいます。ぜひ乗り換えなく電車の乗降ができるよう鉄道会社に取り合ってもらいたいと思います。

### 栗原 町長

東毛地区の首長同士ではさまざまな意見交換を行っています。今は一市や一町など単独で動く時代ではないと首長同士が共通の認識をしています。板倉町には、渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録、関東初の重要な文化的景観といった話題もあります。このような各自自治体の話題に互いが相乗りし、協力して集客につなげていかなければならないと思っています。集客

## 商工業を元気に

【いちざわ こういち】  
商工会員の支援・援助活動を、住民の利便性を考えながら行っていきたい。



商工会長  
市澤 孝一

の少なさをどう改善していくのか、今後の課題です。職員による重要な文化的景観の利活用検討会も立ち上がりました。板倉町としても更にがんばっていきたいと思います。

### 新井 編集委員

この間、板倉町で行った婚活講座がテレビで取り上げられていました。こういった取り組みで少子化に歯止めがかればいいと思います。

### 市澤 商工会長

町などの協力を得ながら商工会青年部も婚活事業を行っています。実際は結婚したカップルはほんのわずかなのが現状です。しかし、わずかでも決して無駄ではないと思います。今の若い人は出会い

の場が少ないといえます。とにかく場がないと出会いも作れませんから、場をつくることが大事だと思っています。参加者はかなり広範囲から来ています。

### 栗原 町長

婚活事業は、板倉町で開催するのだから、板倉町の人に参加して、板倉町あるいは近隣からの参加者とカップルが誕生すればいいというイメージを最初持っていました。しかし、当事者の立場に立つと、町内であろうが遠方からであろうがよい人に会えればそれでいいように思います。婚活を推進するためには、町という枠にとらわれず、広い意味で役立てるといった認識が必要だと考えています。

### 高野 編集委員

2020年東京オリンピックの選手キャンプ地などに板倉町が手を挙げて関わるという計画はどうでしょうか。

### 栗原 町長

キャンブ地の話は東毛地区の首長同士でも話題にのぼりました。厳しい競争もあると思

り身近にオリンピックを感じるのかもしれない。

2015年にスポーツ庁が創設されます。オリンピックに向け、トップアスリートの強化も行いますが、国民へのスポーツの普及、健康福祉の向上の施策もおそらく入れ込んでくると思われます。

21世紀における国民の健康づくり運動「健康日本21」という施策があります。これは1回30分以上の運動を一週間に2回以上、それを1年間持続している運動習慣者を増やす運動です。ぜひこれを町民の皆さんに実践していただきたい、健康な生活を送っていただきたいと思っています。

現在、国道354号線や八間樋橋の整備、役場新庁舎建設の作業を進めています。また、館林厚生病院の新病棟建設、消防組合本部の移転、1市2町広域ごみ処理、群馬東部水道広域化など、順次計画に沿って具体化していきま

す。10年後には板倉町のハード面も変化が目に見えるようになってくると思います。

「新春座談会輝く未来へ～町の10年後～」はいかがでしたでしょうか。記事を通じ、町の役職を務めるかたの考えを町民の皆さんにお伝えすることができたら幸いです。

板倉町広報編集委員



中田 和男委員 笠原 美樹委員 高野 勝良委員長 新井 かほる委員 福富 久枝委員